

【再掲載とおわび】はるタイム110号で案内しました「とうもろこし親子農作業連続体験」の、申し込み締め切り日に誤りがありました。申し訳ございません。訂正し、再度ご案内いたします。

参加者募集

「とうもろこし」親子農作業 連続体験 in 紀ノ川農協 (和歌山県)



～種まきから収穫まで、農作物の成長を実感しませんか？～

とうもろこしの種まき、定植（植え替え）、収穫の全3回を連続で体験していただく企画です。産地に行って作業し、生産者さんの努力や苦労、思いを実感できます。また食育を考えるヒントにも。若い生産者さんとの交流、試食などお楽しみ企画もありますよ。

日程：※天候により日程を変更する場合があります。

①4月12日(日)…種まき ②4月26日(日)…定植 ③7月5日(日)…収穫

★農作物が育つ様子を体験するため全3回ともご参加ください。

行き先：和歌山県紀の川市 定員：40名・大型バス1台 集合：パルコープ本部(京橋)9時30分

対象：小学1年生以上の子どもさんと保護者の方(安全上、小学生未満のお子様は参加できません)

参加費：中学生以上 6,000円/小学生 3,000円(バス代・昼食代込み、全3回分を初回に請求します)



お申し込みは電話で

生活協同組合おおさかパルコープ 組合員活動部 ☎06-6242-0904(月～金 9:15～18:00)

■締め切り 4月3日(金) 18:00まで ◀締め切り日が変わっています！

※このツアーは一般の観光ツアーとは違い、組合員さんに生産者や商品についてより知っていただくためのツアーで、パルコープが一部費用を負担します。ご親族でも組合員さんでない方の参加はご遠慮ください(同居家族は組合員です)。
※申し込み多数の場合は抽選し結果は電話でお知らせします。(初めての方が優先です)

※グループで申し込む場合は、組合員さんごとに組合員コードをお伝えください。
※要項は後日参加者に郵送します。
※応募で得た個人情報にはツアーの連絡、産地交流に係る企画案内以外には使用しません。

3.1ピキニデー2015

2月28日・3月1日

～被爆70年、2015年NPT 核兵器全面禁止へ～

静岡県・焼津にて開催された2015年ピキニデー集会上、パルコープからは6名が参加しました。前日に開催されたピースアクションキックオフ集会(日本生協連主催)や、第五福竜丸記念館見学、当時被ばくし亡くなった、無線長の久保山愛吉さんのお墓がある弘徳院までの墓参り進にも参加しました。



今後の平和のとりくみ…

※今年のピースリレーは
7月3日(金)です

ピースリレーは平和を願って御堂筋を歩きます。どなたでも参加できます。(詳しくは今後のはるタイムなどでお知らせします)

※ヒロシマ・ナガサキを
めぐるピースツアー

募集は、はるタイム113号(5月25日より配布)でお知らせ予定です。

※ピースリレーや地域の平和のとりくみで使う「平和の募金」を注文書の募金欄で受付けております。ご協力をお願いします。



愛吉さんが好きだった
バラを献花

(大東中地域活動委員会
井坂操さん)

参加者の感想

「ピースリレー」が、ピキニデーから行進が始まることを知り、一度行ってみたいと思って参加しました。水爆実験で第五福竜丸ほか数百隻、マシヤル諸島の人々など多数の人が被ばくしている事実を知り、核兵器のない世界へ運動していかなければと強く思いました。

3.1ピキニデーとは

1954年3月1日、アメリカがマーシャル諸島内・ピキニ環礁(環状の珊瑚礁群)で水爆実験を行いました。日本のマグロ漁船「第五福竜丸」を含む数百隻とマーシャル諸島の約2万人が被ばくし、以降「原水爆禁止」を求める声は、全国的な運動に発展。毎年3月1日には、第五福竜丸の母港がある焼津市で、犠牲者の追悼と核兵器廃絶の願いを新たに集う集会などが行なわれています。

3.11東日本大震災から4年 ～私たちは忘れない！～ 3月7日 中之島・大阪市中央公会堂



代表 岡本翔馬さん

次の世代の子どもたちを津波から守りたい
認定NPO法人桜ライン311
「災害で亡くなる方を少しでも0に近づけたい」と、桜を植樹し津波の到達点を防ぐ「桜ライン311」。

温かい手をさしのべたら
もっと笑顔が増えると思います

「なんだこれは…。がれきだらけで何も無い」。故郷の女川町を震災発生後の4月に訪れた中村さん。坂道を登った時に見えた、変わり果てた故郷の景色がいちばんショックだったと言います。

「3・11東日本大震災から4年、私たちは忘れない」。にたくさんの「心算をいただきます」。予想を上回る「心算をいただきます」。すべての組合員さんにお応えできなかったことをお詫言いたします。当日はあいにくの雨の中、ご参加いただきありがとうございました。引き続き支援活動を行なっています。よろしくお願いします。

「ずっとボラの会」も東北復興応援グッズの販売を行い、36万9,900円の売上げと7,301円の募金がありました。ご協力ありがとうございました。



司会の方との軽やかなトーク
会場は引き込まれました

※「桜ライン311」とは：岩手県陸前高田市内の津波到達ラインに桜を植樹し、保管することで後世に伝えるための活動です



よどがわ生協・ならコープ合同企画

お1人でも
ご家族でも

第2回「東北応援バス」参加者募集

【日程】5月3日(日・祝)～5月6日(水・祝)

【申込締切】4月6日(月)

【募集定員】60名(定員は3生協合計の人数です)

今までに参加された方も、申し込みを受付けています。定員を超えた場合は抽選となります(初めての方が優先です)。

【参加費】中学生以上 お1人 12,700円

小学5・6年生 お1人 9,700円

※小学生はかならず保護者同伴でご参加ください

【行程】3泊4日(車中2泊)・大型観光バスで行きます

1日目 パルコープ本部(京橋)集合(18時予定)バスで移動、車中泊

2日目 岩手9時頃着、ボランティア活動、被災地視察

(夜は宿舎泊)

3日目 ボランティア活動

(バスで帰阪、車中泊)

4日目 パルコープ本部前到着(8時頃予定)

【参加条件】組合員さん、及びその家族で安全上、小学校5年生以上の方。複数名参加可。

※活動内容と場所は、現地での要請に基づきます

※持ち物などの詳細は別途、参加者にご案内します

※宿舎は男女別・相部屋です

※参加費には、ボランティア保険・宿泊費などを含みます

※天候不順などにより中止になる場合があります

【申し込み・問い合わせ】パルコープ組合員活動部

☎06-6242-0904 (月～土 9時15分～18時)

ご協力ありがとうございます

東北支援募金の状況(2014年3月21日～2015年2月20日)
14,130,165円 (この金額には2013年度繰越金・注文書での募金・店舗などに設置の募金箱・ずっとボラの会での物販などを含みます)



NO.64

被災者に寄り添い、絆をつなげる支援活動を

56万2551筆。「被災者生活再建支援制度の抜本的拡充を求める国会請願署名」は、全国の生協(購買、医療・福祉、大学など)をはじめ、農協・漁協や生協の労働組合などから寄せられた願いです。パルコープからも、機関紙はるタイム105号で署名のお願いをして、12,948筆のご協力をいただきました。

この署名は2月12日に国会へ提出されました。今の法律は、阪神淡路大震災の被災者の声から制定運動が始まり、震災3年後に初めて「被災者個人への支援」が実現。今回の「拡充を求める」署名は、支援金の最高額を少なくとも500万円に引き上げることや支給要件の緩和・拡充を求めています。

被災から丸4年となる今、災害復興公営住宅への入居や住宅再建が本格的に進もうとしています。震災で財産や仕事などを失った被災者の皆さんが自力で生活再建できることに限界もあり引き続き、全国からの願いを法制度の改正につなげたいものです。

(岩手県遠野市に常駐する

パルコープボランティア事務局・林さんより)



※ ボランティア活動報告はホームページにも掲載しています。<http://www.yodogawa.coop/info/info/shinsai>